

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

①知識・技能

社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。また、社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

②思考・判断・表現

社会的事象から、課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③主体的に学習に取り組む態度

社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追及し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。

3 各学年の目標

①日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解させ地理的な見方や考え方の基礎を培う。

②日本や世界の地位の諸事象を正確にとらえ、地域的特色をとらえるための視点や方法を身につけさせる。

③世界や日本の諸地域が相互に関係し合い成り立っていることを理解させる。

④歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の流れ、各時代の特色を理解させ、それを通して我が国の文化や伝統の特色を考えさせる。

⑤国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした人物と、現在に伝わる文化遺産をその時代や地域との関連において理解させる。

⑥歴史に見られる国際関係や文化交流を理解させ、我が国と諸外国の歴史文化が深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心を持たせる。

4. 指導計画・評価計画表

月	指導計画		評価基準（2評価の観点及びその趣旨①～③に対応）		評価の方法
	地 理	歴 史	地 理	歴 史	
4	第2章 日本の地域的特色	第4章 近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一	① 各地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ② 各地方の地域的特色を、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 各地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	① 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表など様々な資料を活用するとともに、追求した結果をまとめたり、説明したりしている。 ② 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。 ③ 近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追及している。	各単元において （主体的に学習に取り組む態度） ・ 中間・期末・学年末テスト ・ 授業中の学習態度、発言状況 ・ ノート、プリントの記述 ・ 課題（ワーク・レポートなど）の提出状況 （思考・判断・表現） ・ 中間・期末・学年末テスト ・ 小テスト ・ プリント記述・調べ学習などの作業課題 ・ 授業中の話し合い活動等への取り組み （知識・技能） ・ 中間・期末・学年末テスト ・ 小テスト ・ プリント記述・調べ学習などの作業課題 ・ 授業中の話し合い活動等への取り組み （知識・技能） ・ 中間・期末・学年末テスト ・ 小テスト 等により評価する。
5	第3章 日本の諸地域 ・九州地方	②江戸幕府の成立と鎖国			
6	・中国・四国地方				
7		③産業の発達と幕府政治の動き			
9	・近畿地方				
10	・中部地方	第5章 開国と近代日本の歩み ①欧米の進出と日本の開国			
11	・関東地方				
12	・東北地方	②明治維新			
1	・北海道地方	③日清・日露戦争と近代産業		① 近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表などのさまざまな資料を活用し、追求した結果をまとめたり、説明したりしている。 ② 近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから考察し、公正に判断している。 ③ 近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追及している。	
2					
3					